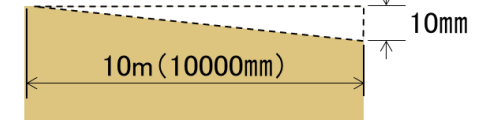


第一首都圏トンネル(北品川工区) シールド掘進工事(本格的な掘進)の地表面変位計測結果



参考 【傾斜角のイメージ(1/1000radの場合)】



○ 建築物に関する傾斜角と機能的障害程度の関係

傾斜角	障害程度
4/1000rad	不具合が見られる
7/1000rad	建具が自然に動くのが顕著に見られる
17/1000rad	生理的な限界値

小規模建築物設計指針(2008年 日本建築学会)一部抜粋

【計測結果※1】

計測値は、シールド機の掘進により建築物に影響を与えないとする目安値(1/1000rad)を下回っていることを確認しました。

計測箇所	最大鉛直変位※2	最大傾斜角※2	目安値
測線1	-4mm	0.4/1000rad	1/1000rad

- ※1 計測はシールド機が測線の前後を通過する一定の期間に実施しました
計測結果には測量誤差が含まれます
- ※2 計測期間における最大値を示しています

シールド掘進工事(本格的な掘進)の振動・騒音計測結果



参考

振動の目安 (dB)

- 70 大勢の人に感じる程度のもので、戸、障子がわずかに動く
- 60 静止している人だけ感じる
- 50 人体に感じない程度

騒音の目安 (dB)

- 80 地下鉄の車内(窓を開けたとき)・ピアノ
- 70 掃除機・騒々しい事務所
- 60 普通の会話・チャイム
- 50 静かな事務所
- 40 深夜の市内・図書館

「西知多道路環境影響評価準備書のあらまし」より抜粋

【計測結果】

掘進中と掘進停止中でほとんど変化がありませんでした。

計測項目	計測点1	
	掘進停止中	掘進中
振動レベル L_{10} (dB)	21	24
騒音レベル L_{A5} (dB)	42	44

振動レベル L_{10} : 振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の最高値と最低値側からそれぞれ10%除外し、残った測定値の上端値

騒音レベル L_{A5} : 騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の最高値と最低値側からそれぞれ5%除外し、残った測定値の上端値

※計測はシールド機が計測点を通過する日に実施しました

※次回の計測位置は「計測点2」を予定しています